

《公共交通フェスタ》

まちの快適空間づくりから考える公共交通 2018

地域との身近な交流による 新たなバス待ち環境の構築

鶴見中継所たすきリレー
第3走者（事例説明）
相鉄バス株式会社



1. 相鉄バスの紹介



■ 乗合バス事業区域

(コミュニティバス・高速バスを除く)

横浜市・大和市・海老名市
綾瀬市・座間市・寒川町

■ 乗合バス車両数

路線 282 台 高速 9 台

■ 乗合バス系統数

(迂回系統・臨時系統を除く)

路線 125 系統 高速 3 系統

■ 乗合バス輸送キロ・利用人員

(迂回系統・臨時系統を除く)

キロ 平日 24,647.6 km
人員 1日 約 9 万人

相鉄バスの紹介



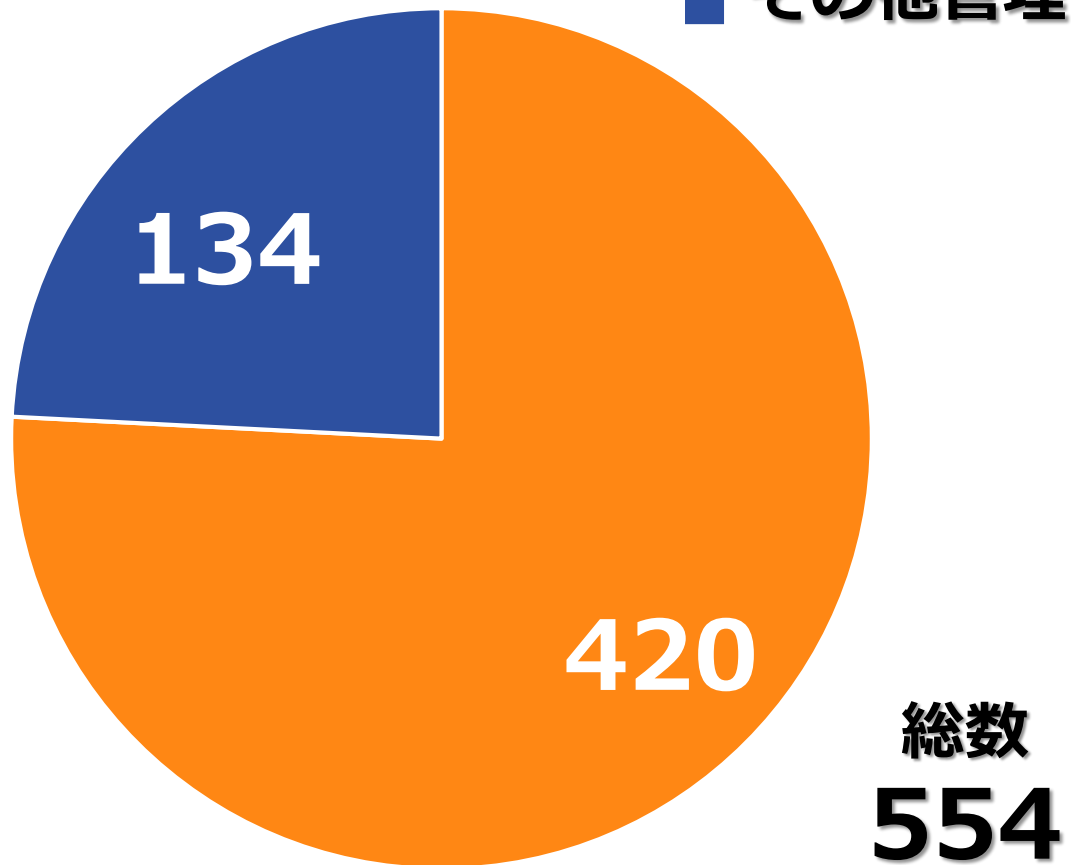
コーポレートカラーに合わせた
新塗装



濃淡のグリーンによる
旧塗装

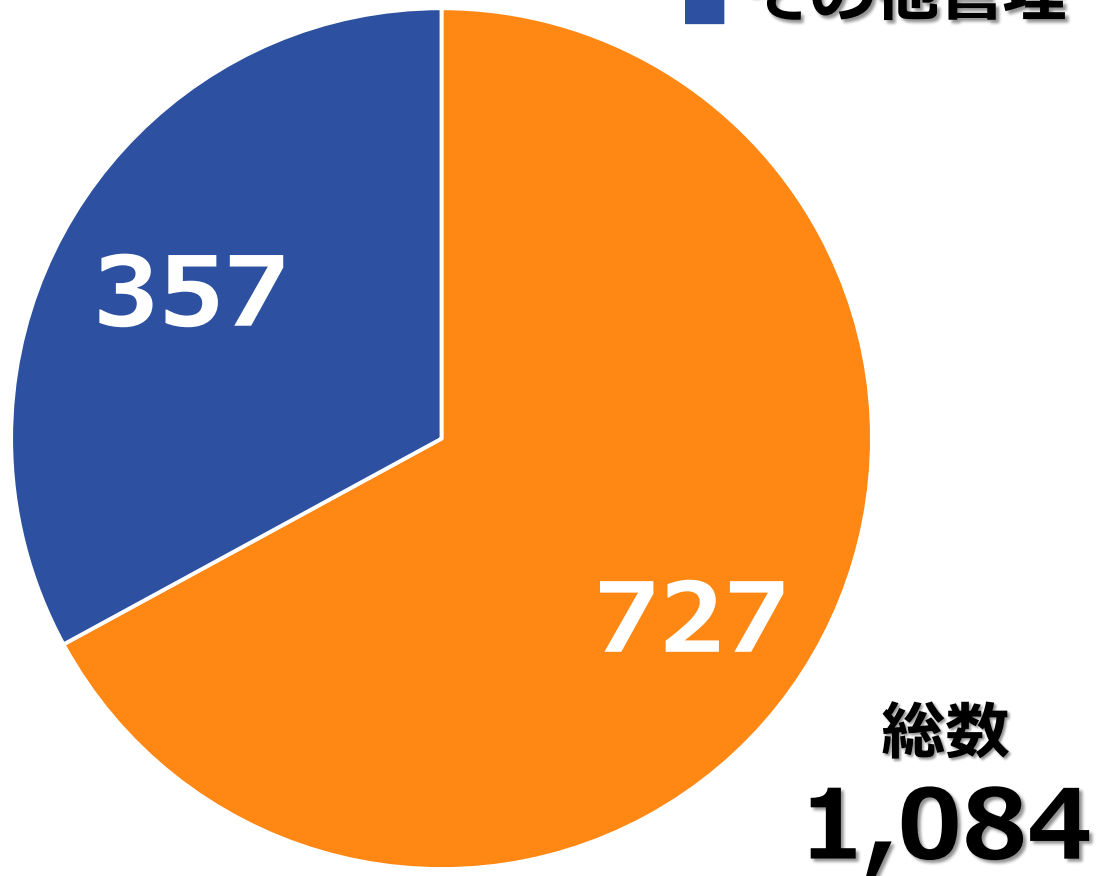
2. 相鉄バスの「バス待ち環境」整備状況（高速バスを除く）

① バス停数



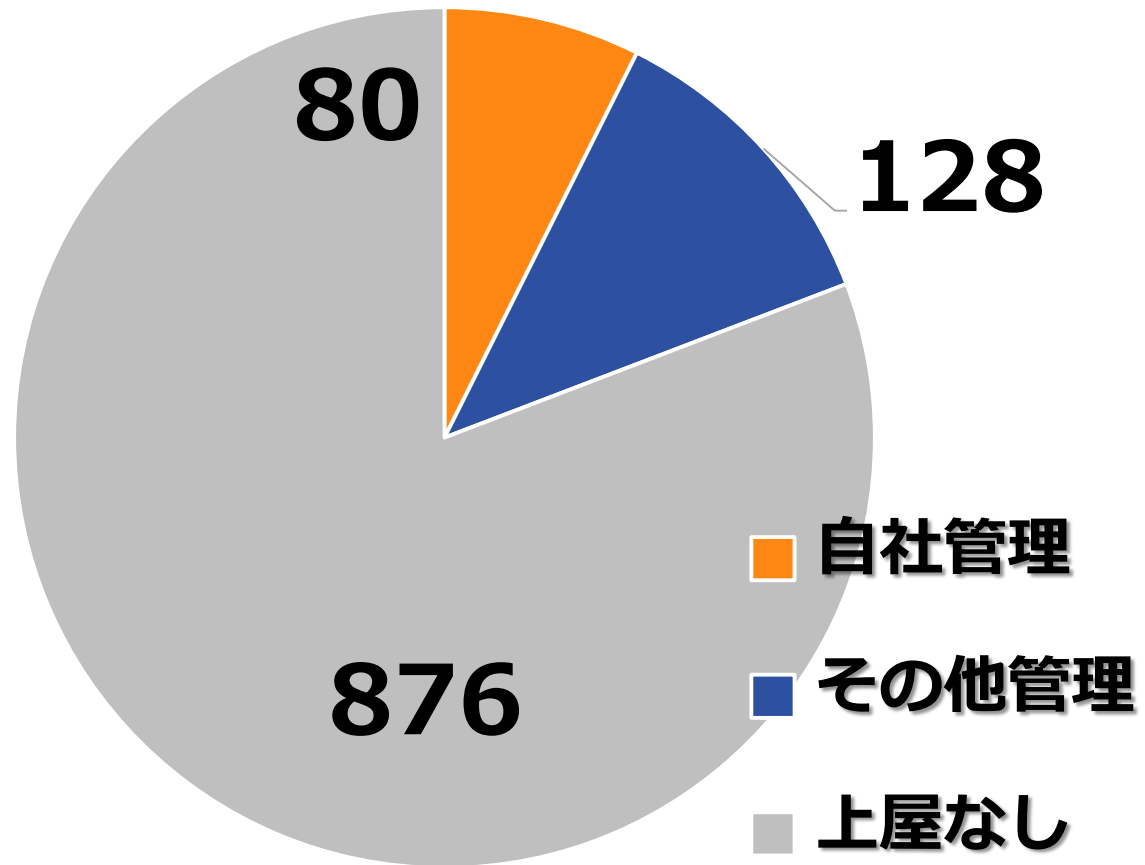
②標識数

- 自社管理
- その他管理

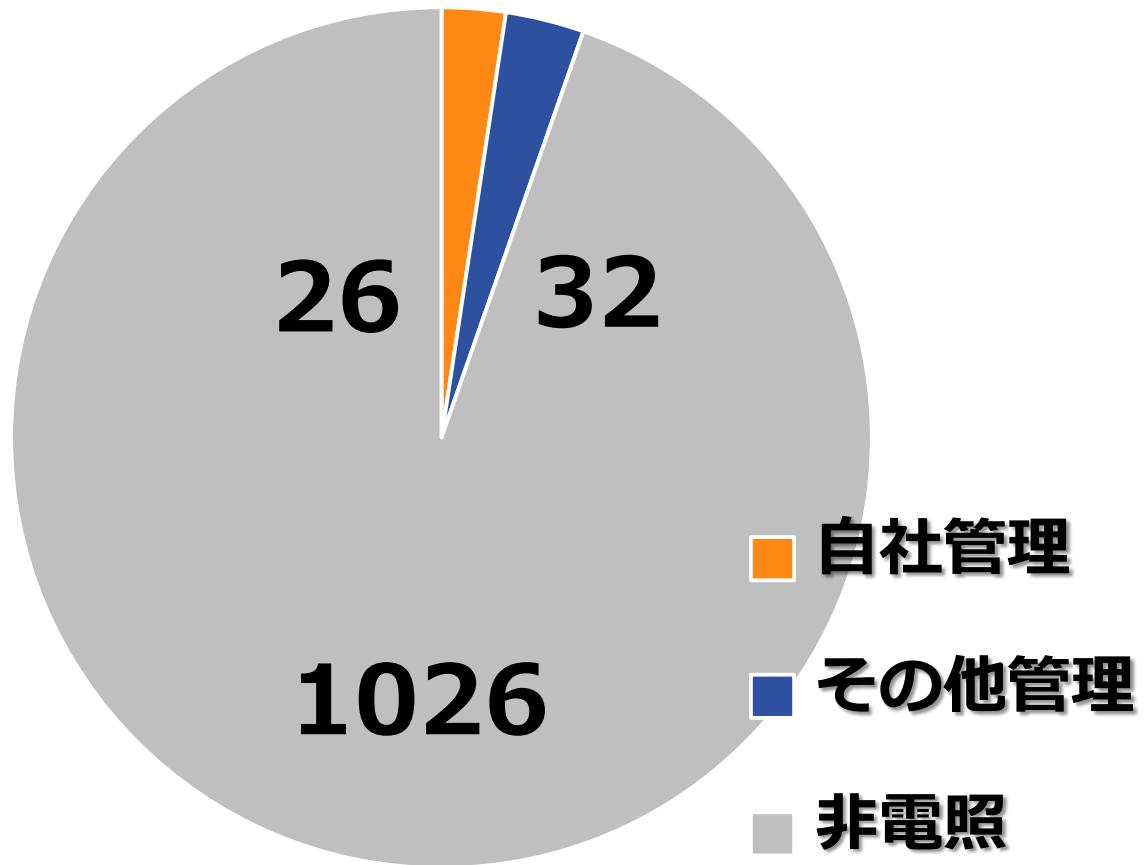


他社・地方自治体が
作成したバス停

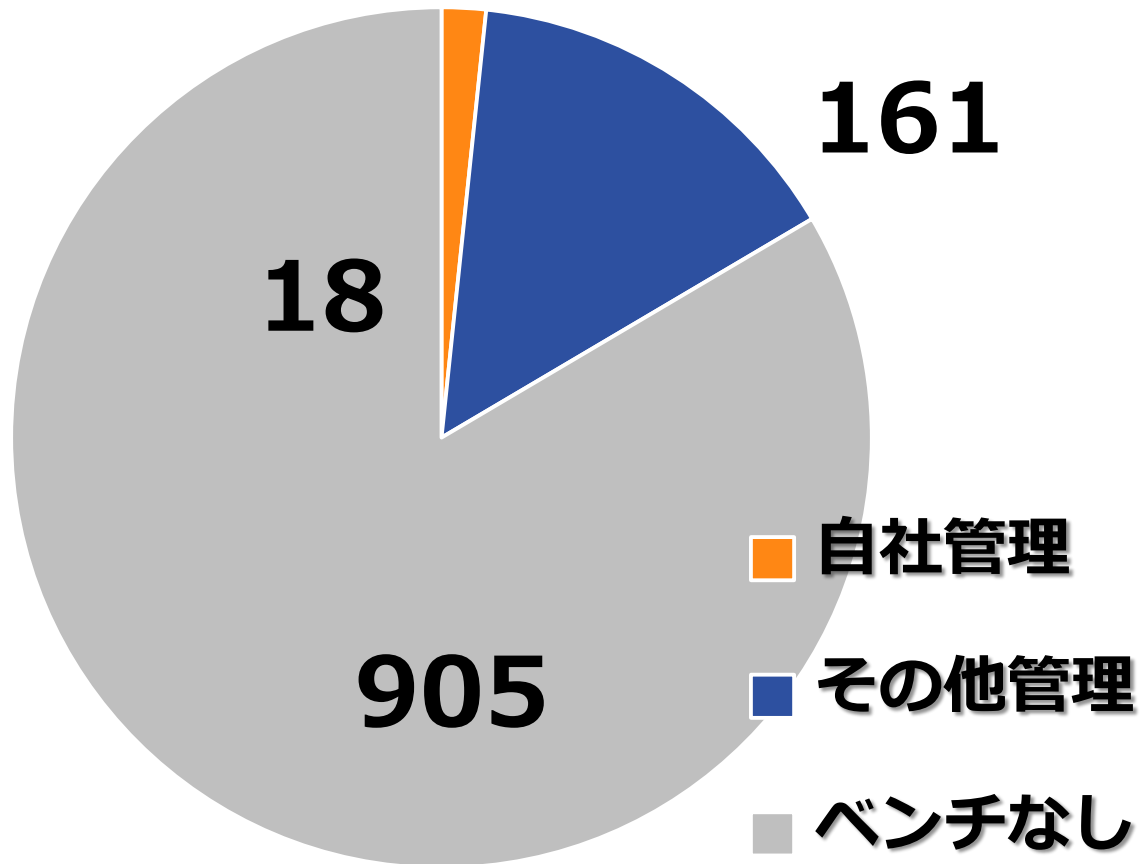
③上屋付標識数



④電照付標識数



⑤ベンチ付標識数



⑥運行案内付バス停

(デジタルサイネージ)

2

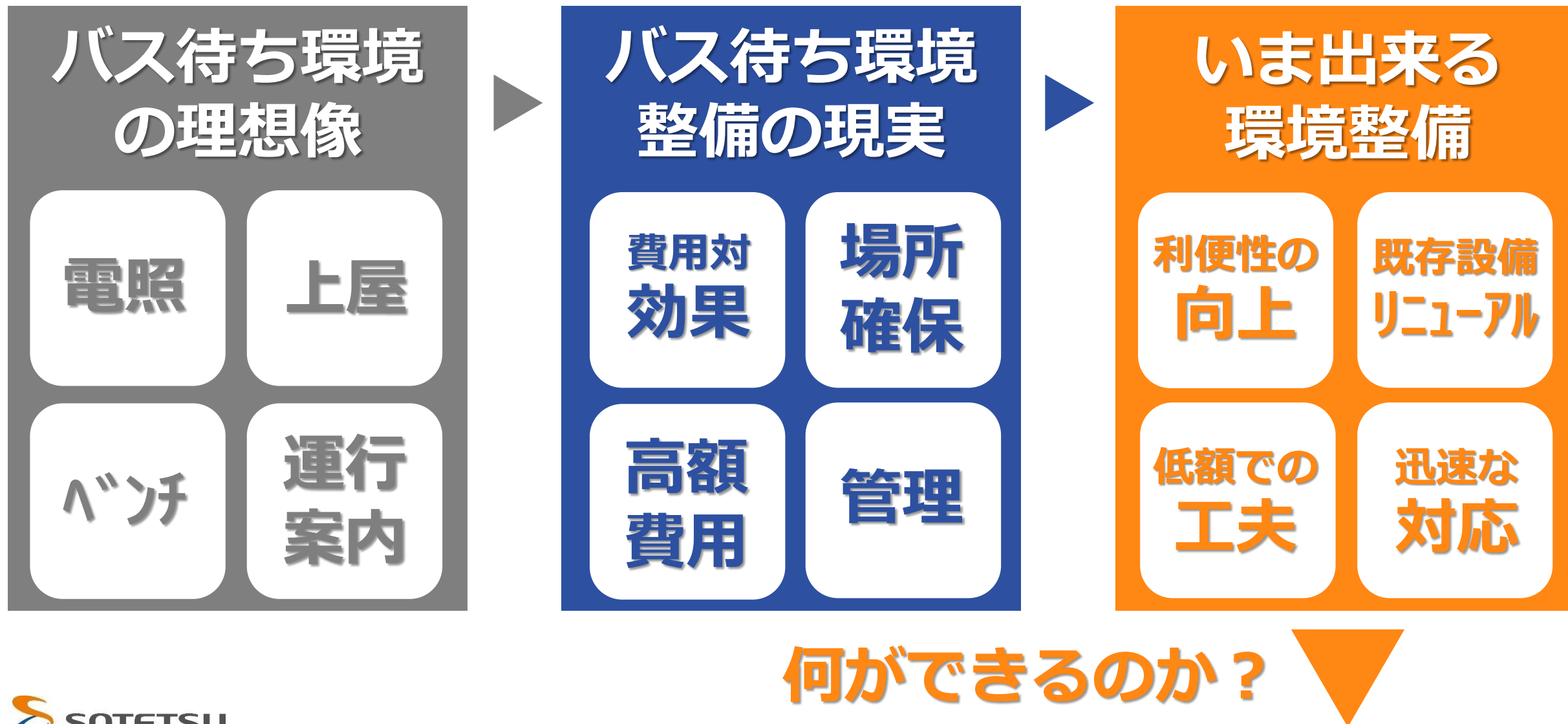
552

- 自社管理
- 案内なし



二俣川駅北口の運行案内
※横浜駅西口には別の運行案内を設置

3. 相鉄バスの「バス待ち環境」の方針



4. 相鉄バスの「バス待ち環境」の改善

利便性の
向上



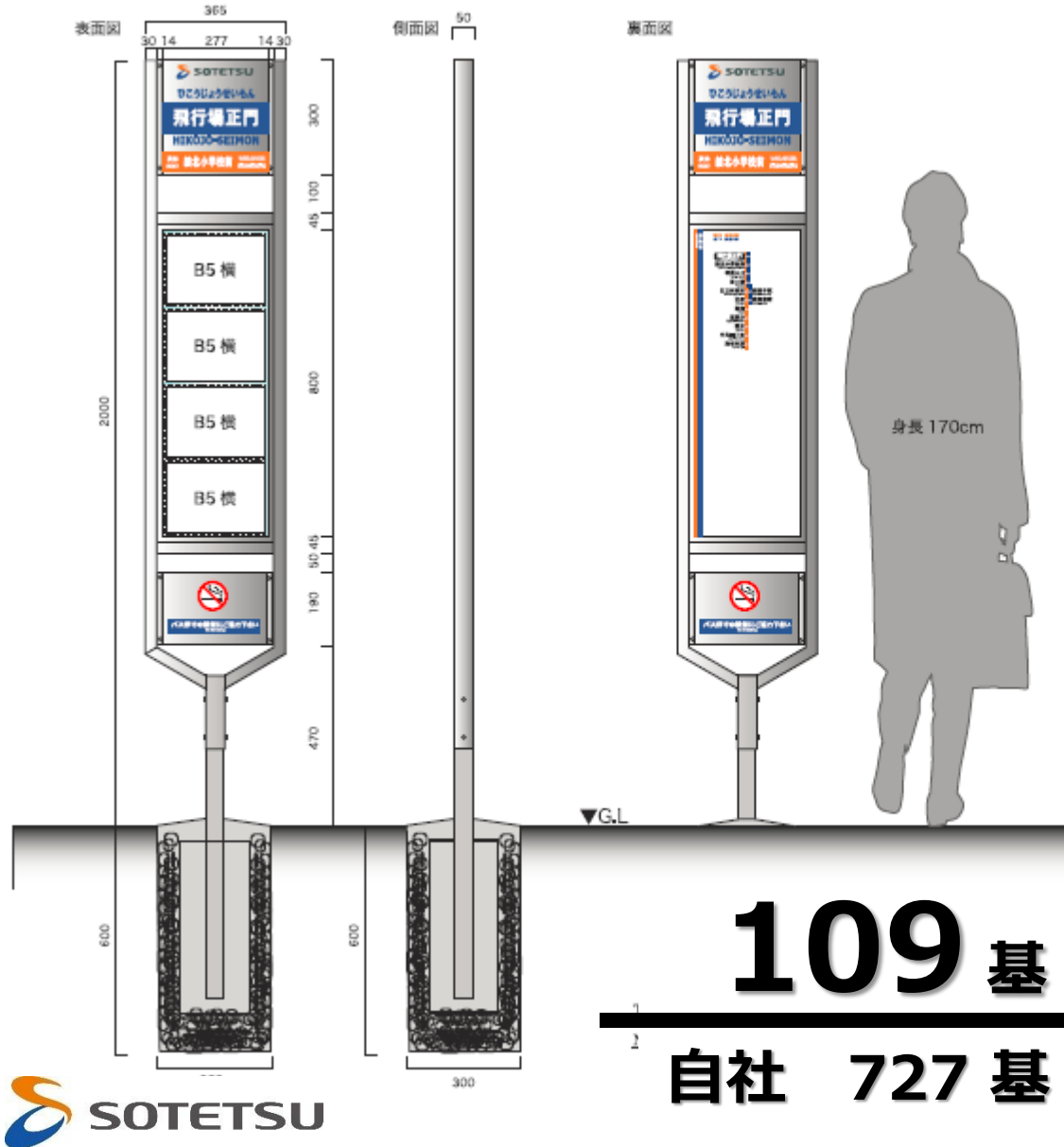
馬車道駅には行くの？



運行する全系統・
到達する全バス停
を日本語・英語で
表記

馬車道駅前
通ります！

新しい標準バス停標識



設計・製作



株式会社 HIRAMOTO看板

(横浜市神奈川区羽沢町) = 当社沿線

製作の経緯

2012年、当時のバス停標識における
「重量」「デザイン」「風への脆弱性」
を解消するものを探していた



(株)HIRAMOTO看板の近所に住む当社員が、
当社のバス停整備担当社員に同社を紹介



同社と当社のバス停整備担当社員が検討し、
「軽量」「スタイリッシュ」「通気性」
を叶える標識を製作した

新しい標準バス停標識



 株式会社 HIRAMOTO看板

 SOTETSU

平本社長と当社担当社員



新しい標準バス停標識



全バス停
を掲出



ステンレス製のスリムなデザイン



通気性
を確保



行き先・時刻表
ご案内などを
スッキリ掲出

新しい標準バス停標識



大型



中型照明付



小型

≪表示の充実≫

■オモテ

系統番号・行先
時刻表・運賃表
乗り方案内

■ウラ

全バス停掲載の
運行系統図

≪選べる規格≫

■大・中・小

■置石・埋設

■簡易照明



二俣川駅南口 新バスターミナル 入口付近の案内看板



のりば別に全系統
・全バス停を掲出

各のりばにも
全系統・全バス停を掲出



既存設備
リニューアル



バス停が汚いなあ



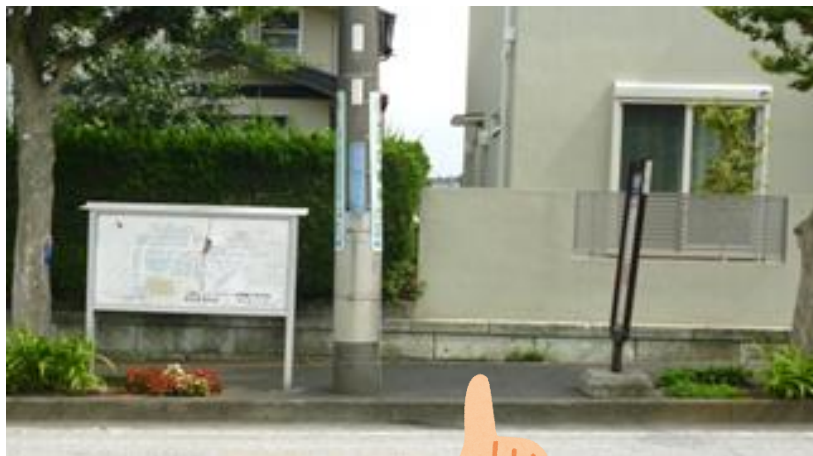
コーポレートカラーに
合わせ改修

既存施設リニューアル



既存のバス停上屋・標識をリフレッシュの上、コーポレートカラーに変更

低額での
工夫



降車スペースが無い！

電柱・掲示板を撤去？



自治会と協調し、最善
の方法でより安く

製作

低額での工夫

標識の支柱の
形状を条件に
合わせて変更



施工前

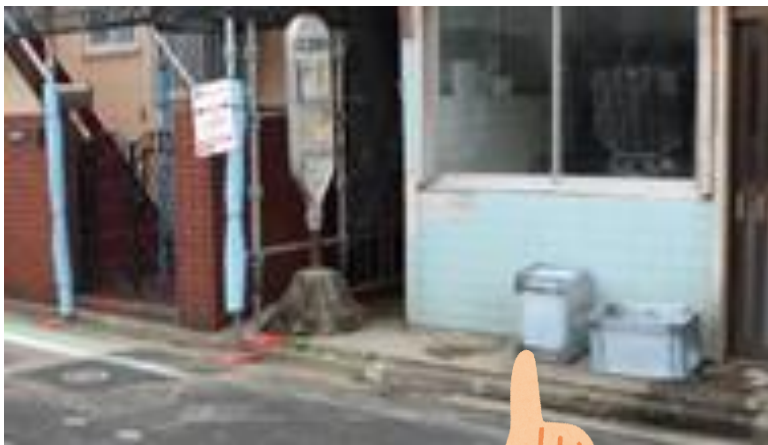


施工後



標識の工夫で
おりばを確保

迅速な
対応



ここに建物を建てる際
バス停が支障になる

すぐに動かせませんか？



地先の皆さまと協調し、
最速の方法で確実に

製作

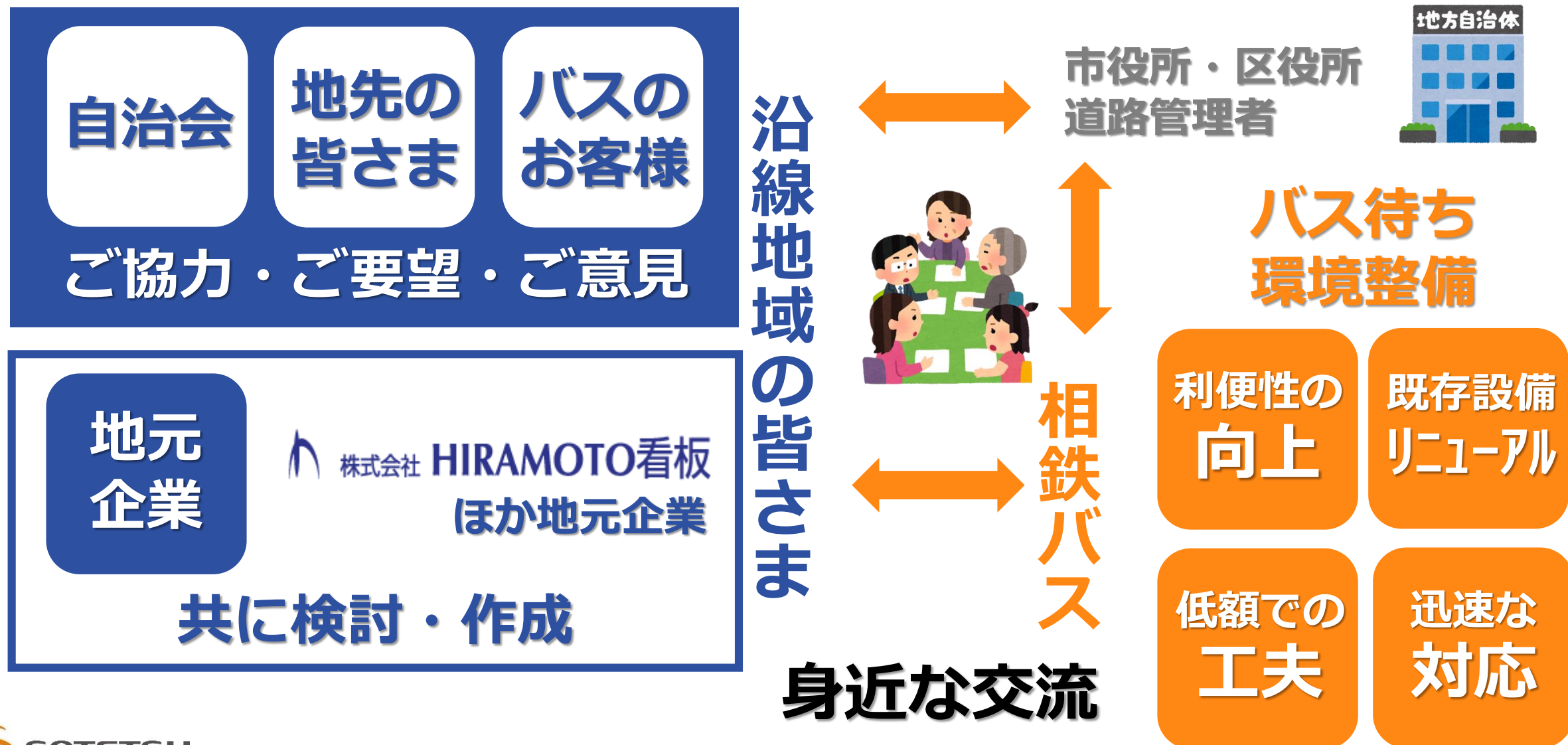
迅速な対応



隣接する
住宅の壁に
掛ける形で
標識を設置

製作

5. 地域と身近な交流による「バス待ち環境」の改善



6. 今後の「バス待ち環境」の課題

当社路線バス
をめぐる現状

少子高齢化
による収入減

生活の足として
大きな期待

バス待ち環境
へのご要望

電照

上屋

ベンチ

運行
案内

より安価に
効果的に
便利に



ますますの
創意工夫が
必要となる



ご清聴
ありがとうございました

